

センター挨拶

東北大学は大正2年(1913年)、当時の国立大学として初めて女性に門戸を開き、3名の女子学生を理学部へ入学させました。その伝統のもと、本学では平成13年に全学的組織として男女共同参画委員会を発足させ、男女格差の是正、研究・労働環境の改善、学内保育園の設置・運営を含めた両立支援体制の充実などに努めてまいりました。

平成25年(2013年)には、日本初の女子学生が入学してから100年を迎えたことを記念して、「男女共同参画推進のたのめ行動指針」の策定及び発信、並びに記念シンポジウムの開催などの行事を展開しました。これを受けて、本学全体の男女共同参画活動を円滑に推進することを目的として「男女共同参画推進センター」を設置することとなり、平成26年4月より発足いたしました。男女共同参画推進センターでは、「行動指針」に基づき、男女共同参画委員会を支援して、(1)面立支援・環境整備、(2)女性リーダー育成、(3)次世代育成、(4)顕彰制度、(5)地域連携、(6)国際化対応、(7)支援推進体制、の7プログラムを実施していく予定です。

今後も様々な取組を通じて男女共同参画の推進に励んでまいりたいと存じます。

どうぞ皆様の一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



TOHOKU
UNIVERSITY

東北大学 男女共同参画 推進センター

Tohoku University Center
for Gender Equality Promotion



東北大学男女共同参画推進センター

Tohoku University Center for Gender Equality Promotion

TEL 022-217-6092

F 980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1

E-mail tumug@morhime.tohoku.ac.jp

HP www.morhime.tohoku.ac.jp



動 指 針

東北大学における 男女共同参画推進のための行動指針

- ### 1. 両立支援・環境整備

本学構成員が、年齢性別等を問わず、仕事や学業と生活との両立を図ることができるように、意識の醸成に努め、子育て支援のための学内施設の充実や介護支援を含めた制度等の環境整備と周知を進める。
- ### 2. 女性リーダー育成

アカデミアにおける男女共同参画の推進に向けて、女性研究者を積極的に採用・養成し、さらに学内および学会、社会、大学のリーダーとして活躍させるための支援、任用制度を整備する。
- ### 3. 次世代育成

将来性豊かな次世代女性研究者を輩出するために、サイエンス・エンジェル(SA)活動を積極的推進することなどにより、学部生・大学院生を対象とした研究者候補の意識啓発と醸成に努め、さらに実体験を通して育成施策を推進する。
- ### 4. 顕彰制度

アカデミアにおける男女共同参画の先駆者として、各分野で活躍し多大な貢献をなした方々を顕彰し、新たな「東北大学男女共同参画賞」を創設する。
- ### 5. 地域連携

東北地方の中心に位置する大学として、東北地方の多くの大学、行政機関等との連携を進め、地域発展や産学連携事業等における男女共同参画を推進する。
- ### 6. 国際化対応

ワールドクラスへの飛躍に向けて、グローバルな研究・教育体制に相応しい、外国人研究者・留学生を対象とした様々な両立支援策を講じ、国際的観点に基づいて学内の男女共同参画を推進する。
- ### 7. 支援推進体制

上記の男女共同参画活動を円滑に推進するために、男女共同参画担当理事(若しくは副学長)と総長特別補佐(男女共同参画担当)を置き、さらに「男女共同参画推進センター」などの専任的支援体制を整備する。

センターの活動

両立支援・環境整備

出産・育児期等の教職員・学生に両立支援を行います。また子育てに関する環境整備を行います。

プログラム名	内 容	対象部署	対象
研究支援要員	研究支援要員雇用のために必要な人件費の補助	自然科学系 部局	育児を行う女性研究者
研究支援要員(シニア型)	教授者同士で事務補助員(男女共同参画推進センターより派遣)をシェア	自然科学系 部局	互いに指導する女性研究者、育児や介護を行う一層の専断委員会等に兼任
ベビーシッター利用料等補助	研究、講義、出張時のベビーシッター利用料等の補助	全部局	教員、技術職員、P.D.、博士学生(男女を問わず)

学内保育園

- 川内けやき保育園
 - 全部局の教職員(教職員等含む)、学生(大学院生、研究生等含む)を対象とした学内保育園です。
- 星の子保育園
 - 原則として星後地区職員の教職員(教職員等含む)、学生(大学院生、研究生等含む)を対象とした保育園です。



新地国際教育センター(星の子保育園)

病後児保育室

- 星の子グループ
 - 全部局の教職員(教職員等含む)、学生(大学院生、研究生等含む)を対象とした学内病後児保育室です。

次世代育成



自然科学系部局に在籍する大学院女子学生を「サイエンス・エンジェル」として任命し、中高生等を対象とした次世代育成活動を行います。また、海外において開催される国際学会等で研究発表を行う大学院女子学生を対象として、その渡航に係る費用を支援します。

プログラム名	内 容	対象部署	対象
サイエンス・エンジェル	高校出張セミナー、オープンキャンパス、科学イベント企画・実施	自然科学系 研究科	自然科学系の大学院女子学生
仙台リベンジクラブ	海外で開催される会議・シンポジウム等の旅費支援	全研究科	大学院女子学生

●サイエンス・エンジェルへの依頼はこちらへ sa_office@morihime.tohoku.ac.jp

顕彰制度

アカデミアにおける男女共同参画の先駆者として、各分野で活躍し多大な貢献をなした方々を顕彰いたします。

澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画奨励賞
澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画奨励賞



「澤柳賞」という名称は、門戸開放の理念を打ち出した初代総長、澤柳政太郎に因みます。この理念に基づき大正2年(1913年)に3名の「女子学生」が日本で初めて誕生しました

男女共同参画推進センターでは、

- ・男女共同参画推進に関する情報収集、発信を行っています。
- ・メールマガジンの登録を希望の方は tumug@morihime.tohoku.ac.jp まで。
- ・各部署の男女共同参画に関する取組との連携を図っています。